

よこすか E C O 通信



第12号(平成26年3月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

「環境の保全」と「観光」

「観光」と聞いて、どんな場所を思い浮かべますか？たくさんのお店が並ぶ華やかな街並みでしょうか。それとも有名なお寺や神社の集まる場所でしょうか。

皆さんは「エコツーリズム」という言葉を聞いたことがありますか？エコツーリズムは、自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を体験しながら、保全していく観光です。観光客はその地域のいろいろな資源にふれあうことができ、また地域住民は自分たちの地域の価値を再認識する機会となります。そして、それらの地域資源の価値や大切さの理解が深まることで、地域の環境保全にもつながる活動です。

参加してみよう 横須賀エコツアー

私たちの暮らす横須賀には、身近な緑や海、歴史遺産など多くの大切な資源があります。これらの資源を「守っていきながら」、「多くの人が身近にふれあえる」ために、横須賀市は「横須賀エコツアー事業」を推進しています（「エコツアー」は、エコツーリズムの考えにもとづいたツアーです）。多様な地域の中から、現在は3つのフィールドでエコツアーを実施しています。どのツアーも「エコツアーガイド」が、参加される皆さんに各フィールドの魅力をご案内します。

★大楠・西海岸フィールド（ガイド：おおくすエコミュージアムの会）

三浦半島の西側に位置し、市内で一番まとまった緑が残っています。自然や歴史、古くからの生活文化等が見どころです。

★観音崎フィールド（ガイド：観音崎公園フィールドレンジャー）

横須賀市の一番東側に位置し、東京湾を行き交う船が望め、要塞跡や群落で広がる海岸植物、多種のシダ類などが見られます。

★猿島フィールド（ガイド：猿島公園専門ガイド協会）

東京湾唯一の自然島。レンガのトンネルや兵舎などの近代化遺産や、自然・歴史・伝説など、見どころ・聞きどころが満載です。



地域の資源に出会えるツアー

エコツアーに参加して、ただ見ているだけでは気づけなかった、横須賀の魅力を感じてみませんか？各ツアーの詳細は、ホームページをご覧ください。参加申込もできます。

＊横須賀エコツアーホームページ <http://yokosuka-ecotour.jp> 横須賀エコツアー で検索

(参考) 環境省 環境白書平成25年版 <http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/>

裏面には季節の生き物図鑑「エコツアーで見たい植物とチョウ」の掲載があります。



春の環境学習講座などのお知らせ



横須賀市自然・人文博物館

トピックス展示「きれいな石・鉱物」
 ～「国際博物館の日」「地質の日」記念行事～
 日 時 4月26日(土)から7月6日(日)
 9:00～17:00
 場 所 横須賀市自然・人文博物館 展示室

「横須賀の海岸と植物見て歩き①浦賀～野比」

～「国際博物館の日」記念行事～
 日 時 5月15日(木) 10:00～15:00
 場 所 浦賀～野比
 定 員 40名
 締 切 5月1日(木)

「干潟の生き物」

～「国際博物館の日」記念行事～
 日 時 5月17日(土) 9:00～12:00
 場 所 長井・富浦(小田和湾)
 定 員 30名(小学生以上。小学生は保護者同伴。)
 締 切 5月2日(金)



申 込 往復はがきで、往信面に行事名・参加希望者全員(家族に限る)の住所・氏名・年齢・電話番号、復信宛名面に自分の住所・氏名を記入し、博物館へ。
 応募者多数の場合は市内在住者を優先。
 野外の催しは参加料50円が必要です。
 横須賀市自然・人文博物館
 〒238-0016 横須賀市深田台95
 電話824-3688

問合せ先

市民大学さががけ講座

「再生可能エネルギーの時代がやってくる」

～ 考えてみよう！私たちのくらしと地域のエネルギー ～
 日 時 4月1・8・15・22日、5月13日(火) 13:30～15:30
 場 所 生涯学習センター
 講 師 NPO法人クリーンエネルギーフォーラム
 理事長 前田典秀氏
 定 員 抽選24名
 受講料 2,500円(予定)
 締 切 3月12日(水) 20時 *定員に満たない場合は14日(金) 8:30から電話・来館で追加募集。先着順。
 申 込 はがき、電話、来館、まなびかんHPのいずれか。
 問合せ 前まなびかん 電話822-4873
<http://www.mmjp.or.jp/shogaigakushu/>

すかっ子セミナー2014 参加者募集 -小中学生の土曜体験プログラム-

市内の活動団体が月1回土曜日に、小中学生を対象に得意分野のプログラムを実施します。(詳細は募集チラシを参照)

コース ・生活環境系：エコニコサークル
 ・自然系A：川がき探検隊
 ・自然系B：自然博士になろう
 ・自然系D：海っ子・山っ子(山編)
 (環境系以外のコースもあります。)

期 間 5月～12月(原則土曜日、月1回)
 対象者 小学校4年生～中学生(小3以下は要相談)
 参加費 4,000円(5月17日(土)オリエンテーション時に徴収)
 締 切 4月1日(火)～4月30日(水)(必着)
 申 込 すかっ子セミナー実行委員会
 〒238-0041 横須賀市本町3-27
 市民活動サポートセンター内レターケースNo.66
 問合せ 事務局(YPS) 電話823-1965(藤澤)



横須賀市地球温暖化対策地域協議会

「ソーラーランタンを作ろう！」

～春休み子ども環境体験教室～
 日 時 3月31日(月) 13:00～16:10
 場 所 産業交流プラザ
 内 容 工作などを通じて地球温暖化について学びます
 対 象 市内在住、在学の小学3～6年生
 定 員 抽選24名
 申 込 3月3日(月)～17日(月)
 電話で横須賀市コールセンターへ
 電話046-822-2500



「緑のカーテン作り方講習会」

日 時 5月13日(火) 14:00～15:30
 場 所 市役所3階301会議室
 内 容 室内を涼しくする緑のカーテンの作り方講習会
 参加者にはゴーヤの苗を差し上げます。
 定 員 先着60名
 申 込 4月14日(月)～30日(水)
 電話かFAXで横須賀市コールセンターへ
 電話822-2500 FAX822-2539
 問合せ 横須賀市環境企画課 電話822-8524

横須賀市観光ボランティアガイドの会 主催ガイドツアー

観光ボランティアガイドツアーに参加しませんか？
 「春の野草を探そう！」

逸見の里山から塚山公園へ」

日 時 3月29日(土) 10:00～14:00 雨天中止
 定 員 60名
 参加費 300円
 締 切 3月19日(水) 必着



「野比の里山と三浦富士で

二輪草と春の七草探し」

日 時 4月19日(土) 10:00～15:00 雨天中止
 定 員 60名
 参加費 300円
 締 切 4月10日(木) 必着
 持ち物 弁当・飲み物・敷物・雨具等
 申 込 はがき(1枚4名まで)にコース名、参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を記入して観光協会へ。
 集合場所は申し込み後にご案内します。
 問合せ 横須賀市観光協会
 〒238-8550横須賀市小川町11横須賀市経済部商業観光課内
 電話046-822-8256 FAX 046-827-1682

はじめよう こどもエコクラブ

こどもエコクラブは3歳から高校生までならだれでも参加できる環境クラブです。一緒に活動する仲間と、活動を支えるサポーター(20歳以上)を集めて活動を始めよう！

<エコクラブの活動>

①エコロジカルあくしょん：
 興味や関心のある分野について自由に行う環境活動

②エコロジカルトレーニング：
 HPに掲載された環境活動・学習プログラムに取り組む活動

こどもエコクラブHP <http://www.j-ecoclub.jp/>

<登録方法(登録無料)>

上記HPで登録もしくは登録用紙を地方事務局へ提出

問合せ 横須賀市環境企画課(地方事務局) 電話822-8327

※横須賀市主催の事業については議会の議決を受けて実施するものです。

「よこすか環境フォーラム2014 With 市民平和のつどい」を開催しました

2月1日(土)ヨコスカ・ベイサイド・ポケットにて、よこすか環境フォーラムが行われました。今年のフォーラムは表彰式、活動発表、そして市民平和のつどいの3部構成です。今回「市民平和のつどい」とコラボレーションしたことで、これまで見えてこなかった「環境」と「平和」のつながりを感じることができました。これからも環境のいろいろな側面を発信していきたいです。

～ プ ロ グ ラ ム ～

◆ステージ

- ①表彰式 横須賀ECO大賞、夏休みエコチャレンジ、環境ポスターコンクール



表彰式ではスカリン大活躍！欠席の受賞者の賞状をもらったり、記念撮影も一緒に撮りました。

＊受賞団体＊

〔横須賀ECO大賞各賞〕光の丘水辺公園友の会、津久井の自然を守る会、三浦半島昆虫研究会、大楠愛児園、大津中学校やまもも学級

〔夏休みエコチャレンジ〕望洋小学校、武山小学校、久里浜小学校(欠席)

〔環境ポスターコンクール〕市立小・中学生20名

- ②「発表！私たちのエコ活動」



発表の様子は2月2日付の神奈川新聞にも掲載されました！

＊発表者＊

光の丘水辺公園友の会(別府史朗さん)、環境教育指導者(高橋弘二さん)、豊島小学校、汐入小学校〔発表順〕

- ③市民平和のつどい「地球のステージ」

出演：桑山 紀彦 さん



桑山さんの優しい語りと歌、映像にあわせて、環境や平和についてたくさんのメッセージが発信されました。

＊参加者の感想＊

「感動的なステージでした」「もっとたくさんの人に聞いて欲しかった」

◆フロア展示

- ・「かんきょう展覧会」市内の環境活動の展示ブース
- ・「環境ポスターコンクール」入選作品展
- ・知ってる？フェアトレード



市内の活動団体のポスターや、環境ポスターコンクール入賞作品を展示しました。NPO法人横須賀国際交流協会はフェアトレードコーヒーを提供(試飲)。自分で味わうことでフェアトレードをより身近に感じられたのではないのでしょうか。

お知らせ

2014年全労済地域貢献助成事業 ～環境活動、子育て・子育て支援活動を応援します～

対象者 ①NPO法人、任意団体等 ②1年以上の活動実績
③年間収入300万円以下 (①～③すべて該当の団体)

期 間 7月20日～平成27年7月19日の活動

内 容 ①地域の生態系を守る活動
②低炭素・循環型の地域社会を作る活動
③地域の自然や環境の大切さを学ぶための活動 等

助成額 1団体あたり上限30万円(総額2,000万円)

締 切 3月26日(水)～4月9日(水) 必着

申 込 申請書(HPから取得)に提出書類を添えて郵送
＊詳しくはHPをご覧ください。

問合せ先 全労済 総務部内 地域貢献助成事業事務局
〒151-8751 東京都渋谷区代々木2-12-10
電話03-3299-0161 FAX03-5351-7772

E-mail 90_eco@zenrosai.coop

HP <http://www.zenrosai.coop/zenrosai/topics/2014/140214.php>

(公財) 高原環境財団

～子供たちの環境学習活動に対する助成事業～

対象者 保育園、幼稚園、小学校、町内会等の地域活動団体

期 間 7月1日～平成27年3月13日の活動

内 容 小学生以下を対象に行う、緑化や自然体験などの環境保全に関する体験・学習活動

助成額 助成対象事業の必要経費、1団体あたり上限50万円(総額400万円)

締 切 5月23日(金) 必着

申 込 申請書(HPから取得)に提出書類を添えて郵送
＊詳しくはHPをご覧ください。

問合せ先 公益財団法人高原環境財団
〒108-0074 東京都港区高輪3-25-27-1301
電話03-3449-8684 FAX03-3449-2625

E-mail mail@takahara-env.or.jp

HP <http://www.takahara-env.or.jp/bosyu/index.html>



今号の表紙には「横須賀エコツアー事業」が紹介されています。そこで今回はエコツアーの3つのフィールドでそれぞれ注目して観察しておきたい植物とチョウを紹介します。ただし、これらの種は紹介した場所以外にも生息しています。

★**大楠山** 三浦半島最高峰で前田川や平作川などの源流域でもあり、山地性の動植物が多く見られます。オオバウマノスズクサは山地性のつる植物で、葉はスパード型です。花は花弁がなく、がくが筒状でU字形に曲がり、先端はラッパ型です。雌しべや雄しべは花の奥にあり、花粉を求めて奥まで入った昆虫はなかなか外に出られず、受粉に役かいます。和名は果実を馬の首にかける鈴に見立てて付けられました。

ウマノスズクサ類の葉を食べて育つジャコウアゲハは、後翅がスラッと伸びた美しいチョウです。ウマノスズクサ類には鳥がマズいと感じる成分が含まれ、ジャコウアゲハはその成分を全身に蓄積して鳥から身を守ります。

★**観音崎** 県立観音崎公園があり、丘陵に広い林と草地が広がり、歴史遺産も見ることができます。公園内に多いカラスザンショウは、神奈川県では山地を除きほぼ全域に分布します。日当りを好み、成長が早いので、伐採されて明るくなった場所などでは真っ先に生えます。葉はサンショウの葉をずっと大きくした印象で、もむと香辛料のような独特の香りがします。秋に落葉すると太い枝がまばらに生えている特徴的な姿が見えます。幹や枝には大きなとげもあるので、他の木との識別は比較的容易です。

カラスザンショウなどミカン類の葉は、多くのアゲハ類の幼虫の餌になります。カラスザンショウには、特にカラスアゲハやクロアゲハの幼虫が見られます。春や盛夏には、これらのチョウが公園内を元気よく飛び回る姿を目にすることができます。

★**猿 島** 照葉樹林と海岸植物の豊かな自然と歴史遺産にあふれた無人島です。林内には木々に絡まりながら伸びている常緑性のつる植物、キジョランが見られます。葉は、丸くて厚く、光沢があり、対生します。和名は、種子にある白い長毛を、髪を振り乱した鬼女にたとえたものといわれます。県内では三浦半島や真鶴半島などでは比較的多く、他ではほとんどみられません。

キジョランの葉を食べるのはアサギマダラの幼虫です。アサギマダラは、翅に黒とこげ茶に白っぽい半透明の模様が美しいチョウです。キジョランには鳥がマズいと感じる成分が含まれるため、葉を食べるアサギマダラも全身にその成分をたくわえています。美しい翅で優雅に飛べるのも、「マズい」ことをアピールするためかもしれません。このチョウは、夏～秋に出現した成虫が南へ移動する「渡り」をすることでも知られ、1,000km以上も離れた場所で見つかったことがあります。

(横須賀市自然・人文博物館 大森学芸員、内船学芸員)



写真:オオバウマノスズクサの葉(上)、
オオバウマノスズクサの花(下左)、
ジャコウアゲハ(下右)



写真:カラスザンショウ〔撮影:大前悦宏氏〕
(左)、カラスアゲハ(右)



写真:キジョラン (左)、アサギマダラ(右)

みなさまからのECOな情報も募集しています。

発行:横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力:横須賀市自然・人文博物館
(発行元)〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課

TEL: 046-822-8327、FAX: 046-821-1523、E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

☆ HPは横須賀市HPから「ECO通信」で検索。(カラー版でご覧いただけます！)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議のトライアル事業の一環として発行しております。

「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

